

会社案内

<適格請求書登録番号:T9-0111-0102-8557>

社名: 株式会社 エイエムアイ・テクノ (英文名 AMI Techno CO.,LTD.)

住所: 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-5-3-1313 (西新宿ダイヤモンドパレス13階1313号室)

Tel/Fax番号: Tel 03-5339-7417 Fax 03-5339-7414

E-mail / http: E-mail:ami-tec@m2.pbc.ne.jp http://www.ami-tec.co.jp/

会社設立: 1999年 10月 4日

資本金: 1,000万円

主な株主: 小南 幸哉 三興通商株式会社 他

年度決算期間: 10月1日~翌年9月30日

代表者: 代表取締役 小南 幸哉 (こみなみ ゆきや)

役員: 小南 光子 石川 佐敏

監査役: 國井 留美

取引銀行: 三菱東京UFJ銀行 西新宿支店 三井住友銀行 新宿西口支店

主な仕入先: (株)八洲測器、三興通商(株)、オメガウェーブ(株)、ハクバ写真産業(株) 他

事業内容: 大学・公共・企業の研究・開発 関連施設への電子計測機器の販売。
柔らかい物の接触圧測定器の研究・開発

医療機器の販売(高度管理医療機器販売許可取得)

<工業所有権>

特許: 接触圧測定法及び校正法 国際特許取得: 米国、日本

接触圧・血流計測センサ(同一部位の圧迫と皮膚血流、皮膚温を臨床測定): 日本

新接触圧校正法(チャンバ加圧法)生体などの曲面や柔らかい面上での圧力校正: 日本

組込み型受圧法(センサ/ダミーマネキン・義手などに): 日本

円筒拡張式接触圧校正法: 日本

空気封入式接触圧計測法(ストッキング・包帯圧力測定器/AMI3037-SB、A0905-SA): 日本

圧力生産法(CO₂・資源消費ゼロのエネルギーとして提案): 日本

<主な扱い製品と用途>

- ・接触圧測定機器 (生体への圧迫、体圧・衣服圧・把持など)
- ・接触圧・血流計測センサ/加圧チャンバ (圧迫と血流の相関:褥瘡研究,皮膚圧迫擦れ影響など)
- ・ストッキング・包帯の圧力測定器 (多点のストッキング・包帯の圧力測定の他、着圧など接触圧測定)
- ・レーザー血流計 (皮膚血流:感覚・血行影響など)
- ・レーザー組織血液酸素モニター(血管/筋 領域組織血液変化:血行影響など)
- ・貼り付け温度センサ (皮膚面、衣服間、保温性など)
- ・パソコンデータ収録・解析装置(データロガー)

経歴: <国際的にも、まだJISやISOなど規格化されてない柔らかい物の接触圧値(生体の体圧・拘束圧など)と、その基準値を再現する校正法を研究開発。生体影響や用具評価を計測データで観ることができる装置。また、同時に他の生体計測機器とのシステムで産官学の基礎研究などへ納入展開>

1992年4月まで在籍していた表面温度計メーカーの安立計器(株)販売部門に於いて、繊維・衣服関連分野の大学など研究者より、兼ねてから衣服が生体へ掛かる圧迫(衣服圧)を計測する機器が世界的にも無いとのことで求められていた。国際的にも規格や基準がないがその接触圧計測標準と計測法を考案、社内提案で採用される。取引先の電子機器の開発を手がける(株)エイエムアイに開発依頼。移籍しセンサ部のエアバックなどを自身で開発を手掛け製品化に携わる。"92年6月から販売開始。"99年10月に接触圧と関連機器とのシステム化を行い、研究開発を兼ねる株式会社エイエムアイ・テクノを設立。

納入先: 1992(エイムアイ)から継続記載

- <大学> 国公法人: 京都大, 大阪大, 神戸大, 九州大, 鹿児島大, 奈良女子大, お茶の水女子大, 鳥取大, 富山大, 京都教育大, 京都工繊大, 奈良教育大, 和歌山大, 徳島大, 静岡大, 福井大, 佐賀大, 宮崎大, 大分大, 信州大, 東京都立短大, 山梨県立女子短大, 倉敷市立短大, 長野県立短大, 岩手県立大, 青森県立保健大, 岡山県立大, 県立新潟女子短大, 岐阜大, 浜松医科大, 弘前大 他
 - 私立: 東京女子医大, 慶応大, 立命館大, 埼玉医科大, 文化学園大(文化女子大), 日本女子大, 神戸女子大, 大妻女子大, 実践女子大, 武庫川女子大, 中京大, 福岡大, 青葉短大, 尚絨女子大, 聖隷クリストファー看護大, 安田女子大, 京都文教短大, 日本女子体育大, 山野美容芸術短期大, 大阪成蹊短大, 中部大, 城西国際大, 帝京平成大, 神奈川大, 札幌医科大, 大阪医薬大 他
 - <公共法人> 経済産業省/製品評価技術基盤機構, 防衛省/技術研究本部, 航空医学実験隊, 国民生活センター, 東京都/東京都立産業技術研究センター, 都立皮革技術センター, 大阪府立産業技術総合研究所, 奈良県工業技術センター, 福井県工業技術センター, 石川県工業試験場, 富山県工業技術センター, 福岡県工業技術センター, 岐阜県産業技術総合センター(岐阜製品技術研究所, 岐阜生活技術研究所), 茨城県工業技術センター, 日本繊維化学検査協会, 日本静脈学会/弾性ストッキングコンダクター神奈川地区講習会, EMPA 科学技術研究 (Switzerland)他
 - <企業> ユニチカリサーチラボ, 帝人, 東レ, 旭化成, 倉敷紡績, 東洋紡, 本田技研, 三菱自動車, マツダ, 花王, ユニチャーム, 王子製紙, 大王, ミズノ, アシックス, 住友ゴム, ブリヂストンスポーツ, アディダス(ドイツ・米国), グンゼ, 補助, 厚木ナイロン, ワコール, レナウン, 東光, 川重防災, ヤマハ発動機, コクヨ, 三洋電機, 日本タンクステン, アルケア, 池田物産, TSテック, 日本発条, デルタツーリング, 鐘淵化学, 松下電工, 三洋電機, 消費科学研究所, ナイガイ, トリンプインターナショナル, スリーエムヘルスケア, ダイヘンテック, 岡本, 東海メディカルプロダクツ, NTT物性科学基礎研究所, ニコン, ダイキン, パラマウントベッド, ゴールドウィン, イチカワ, トヨフレックス, キューアサ, ユアサシステム機器, ミツフジ, 北京Aimer, ユニクロ, ゴールドフラック 他
 - <海外> 韓国: 繊維開発研究院, 韓国縫製技術研究所, 韓国生産技術研究所, ソウル大, 円光大, 嶺南大, 慶熙大, 慶北大, 忠南国立大, 安東大, 嶺南大, 漢陽大, INHA大, KUSAN大, 仁川大, 建国大, 全南大, スンシル大, 国立公州大, 嶺南大 他
 - 中国: 閩江学院服装学科, 東華大服飾学院, 蘇州大, 浙江理工大服装学院, 閩江学院服装学科, 德州大学, 西安工程大学, 青島大, 上海工程技术大, 北京服装学院, 天津工業大
 - 米国ニューヨーク州: コーネル大学/Cornell University
 - スイス: EMPA (科学技術研究機関), ザルツマン(医療ストッキング 関連)
 - シンガポール: 南洋理工大
 - オーストラリア: シドニー工科大
 - 台湾: 国立屏東科技大, SAN LIEN TECHNOLOGY
- 企業 テイエス テック(車座席シートカー) アメリカ・イギリス・カナダ・ブラジル・中国・タイ・インドネシア 各工場
アディダス(ドイツ・米国), Royce Too(米国), Kimberly-Clark(米国・中国), 南洋理工大(シンガポール)

沿革: (株)エイムアイ在籍時期から記載

・1992年5月 接触圧測定器の開発・製品化

- ・1992年6月 接触圧測定器の発売開始 (日本家政学会にて機器展示にて公開)
- ・1999年7月 接触圧測定法(面圧とその熱影響の校正含む)米国特許取得
- ・1999年10月 (株)エイムアイ・テクノ設立。・・・(株)エイムアイから接触圧測定器部門を分離。
- ・2000年8月 接触圧測定法(面圧とその熱影響の校正含む)欧州特許取得/Patent No.0831313
- ・2000年10月 接触圧・皮膚血流センサ特許出願。(同一部位の圧迫、皮膚血流、皮膚温の計測センサ)
- ・2001年1月 接触圧・皮膚血流センサの販売開始。
- ・2002年1月 接触圧測定法(面圧とその熱影響の校正含む)日本 PatentNo,3268601取得
- ・2002年8月 皮膚加圧/血流チャンバ開発着手。(皮膚の圧迫特性を血流変化で捕らえる)チャンバ 校正法を応用し実用化
- ・2003年3月 皮膚加圧/血流チャンバ販売開始。(皮膚の圧迫特性を血流変化で観る)
- ・2003年8月 皮膚加圧/血流チャンバを日本褥瘡学会に機器展示にて反響。
- ・2005年1月 ダミー(人型)に組み込める受圧センサ、パラソル型エアバック製品化。
- ・2005年3月 高度管理医療機器販売・賃貸許可証取得。
- ・2005年9月 接触圧・皮膚血流センサ特許取得
- ・2006年5月 接触圧校正法(チャンバフィルム加圧法)特許取得
- ・2006年9月 組込み受圧法(パラソル型エアバック)特許出願
- ・2007年5月 産官学参加の衣服圧研究会で、組込受圧センサをHOLダミーに組込んで着圧評価装置として研究結果。
日本家政学会、繊維学会、繊維製品消費学会などで研究発表後、アパレル各団体に発表報告
- ・2008年3月 円筒拡張式接触圧校正法(円筒面上にて、伸縮材と柔軟体の接触環境を再現法) 特許出願
- ・2008年3月 医療及び健康・福祉分野,光技術調査研究委員/『床ずれ防止』調査研究報告書
- ・2009年5月 空気封入式接触圧計測法特許出願 特願2009-139649
- ・2009年5月 ストッキング・包帯用圧力測定器製品化 AMI3037-SB
- ・2009年8月 ガードル装着装置試作(下肢ダミー用) A0908・・・日本ボディファッション協会・衣服圧研究会へ提案用
- ・2010年3月 下腿拡張機を開発(靴下・ストッキングの着圧評価試験用として)・・・血管系研究者に提供
- ・2011年5月 圧力生産法(圧力エネルギーの生産法) 特許出願
- ・2012年3月 日本静脈学会/弾性ストッキングコンダクター神奈川地区講習会、ストッキング 包帯圧力測定器6台採用
- ・2013年1月 神奈川リンパ浮腫研究会「弾性着衣の圧測定について」横浜市立大学附属市民総合医療センター
- ・2013年6月 弾性ストッキングコンダクター講習会(機器利用開始→測定実技体験用)/日本静脈学会
- ・2014年4月 特許取得 円筒拡張式接触圧校正法
- ・2014年8月 特許取得 空気封入式接触圧計測法(ストッキング・包帯圧力測定器)
- ・2015年2月 特許取得 圧力生産法(圧力エネルギーの生産法)
- ・2016年5月 『着圧/体圧が同じでも皮膚血流が異なる』第68回日本家政学会大会/ランチョンセミナー
- ・2020年 www.mdpi.com/journal/sensors・国際文献:世界で利用されてる3機種の計測器をデータ比較でAMIが高く評価